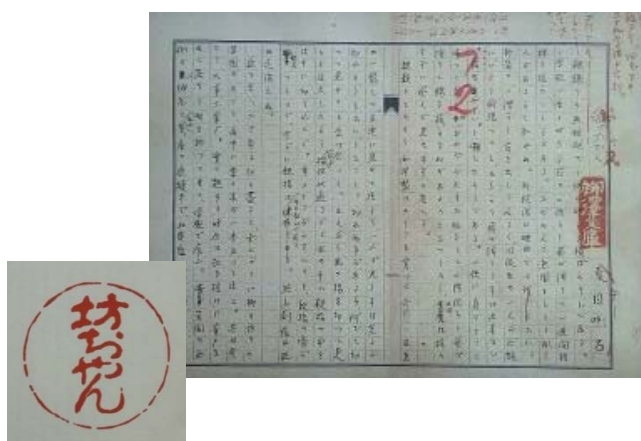


【講座名】

夏目漱石『坊っちゃん』の世界

— 「坊っちゃん」はなぜ笑われるのか —

【講座の紹介】



『坊っちゃん』は、江戸っ子「坊っちゃん」の教師奮闘記として、今でも多くの人に読まれています。しかし、この小説は、単に面白いだけでなく、明治の近代国家形成期特有のテーマが巧みに取り込まれた、時代と密着した小説でもあります。本講座では、時代状況を踏まえて、近代教育制度、近代日本語形成、都市生活など、様々な角度から物語を分析し、小説世界の隠れた魅力を紹介していきます。

開催日	時間	講座内容
9/8(木)	10:30~12:00	学校小説としての『坊っちゃん』の独自性
		漱石の大学入試委員辞退と、鉄道運賃値上げ反対の市民運動
		「坊っちゃん」はなぜ笑われるのか — 近代教育制度とコトバ
		島崎藤村『破戒』との共通点・相違点 — 『坊っちゃん』の独自性
9/15(木)	10:30~12:00	『坊っちゃん』の結末と物語構造
		物理学校を卒業した「坊っちゃん」は「無鉄砲」な性格なのか
		「清」が形成するもう一つの世界 — 「坊っちゃん」の二つの意味
		「坊っちゃん」はなぜ過去の出来事を語ったのか

開講日：平成28年9月8日(木)・9月15日(木)

時間：10:30~12:00

受講料：1,000円

募集人数：20名 一般対象(18歳以上) 抽選

開催場所：豊田産業文化センター2F とよた男女共同参画センター(キラッ☆とよた)情報交換室

講師：山口比砂(一般学科 准教授)

共催・後援：豊田市教育委員会